

## 競 争 加 入 者 心 得

(趣旨)

第 1 国立大学法人一橋大学で発注する工事の請負契約に係る一般競争及び指名競争を行う場合における入札その他の取扱いについては、国立大学法人一橋大学会計規則その他細則及び要項に定めるもののほか、この心得の定めるところによるものとする。

(競争加入者の資格)

第 2 一般競争又は指名競争に参加しようとする者（以下「競争加入者」という。）は、国立大学法人一橋大学契約事務取扱細則第 6 条及び第 7 条の規定に該当しない者であって、国立大学法人一橋大学長が競争に付すつど別に定める資格を有する者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、特別の理由がある場合に該当する。

(入札保証金)

第 3 競争加入者は、入札公告、公示又は指名通知において入札保証金を納付すべきこととされた場合にあっては、入札書の提出期限までに、その者の見積る入札金額の 100 分の 5 以上の入札保証金又は入札保証金に代わる担保を納付し、又は提供しなければならない。

(入札保証金に代わる担保)

第 4 第 3 に規定する入札保証金に代わる担保の種類及び担保の価値は次に掲げるとおりとする。

区 分	種 類	価 値
ア	国 債	債券金額
イ	政府の保証のある債権	額面金額又は登録金額（発行価額が額面金額又は登録金額と異なるときは発行価額）の 8 割に相当する金額
ウ	銀行、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫又は全国を地区とする信用金庫連合会の発行する債券	同上
エ	日本国有鉄道改革法（昭和 61 年法律第 87 号）附則第 2 項の規定による廃止前の日本国有鉄道法第 1 条の規定により設立された日本国有鉄道及び日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和 59 年法律第 85 号）附則第 4 条第 1 項の規定による解散前の日本電信電話公社が発行した債券	同上
オ	地方債	債券金額
カ	国立大学法人一橋大学長（以下「学長」という。）が確実と認める社債	額面金額又は登録金額（発行価額が額面金額又は登録金額と異なるときは発行価額）の 8 割に相当する金額

キ	銀行又は学長が確実と認める金融機関 資の受入、預り金及び金利等の取締まり に関する法律(昭和 29 年法律第 195 号) 第 3 条に規定する金融機関をいう。以下 同じ。) が振り出し又は支払を保証した 小切手	小切手金額
ク	銀行又は学長が確実と認める金融機関 が引き受け又は保証若しくは、裏書きを した手形	手形金額 (当該手形の満期の日が 当該手形を提供した日の 1 ヶ月後 であるときは提供した日の翌日か ら満期の日までの期間に応じ当該 手形金額を一般の金融市場におけ る手形の割引率によって割り引い た額)
ケ	銀行又は学長が確実と認める金融機関 に対する定期預金債権	債権証書記載の債権金額
コ	銀行又は学長が確実と認める金融機関 の保証	保証金額

(入札保証金の納付)

第 5 競争加入者は、入札保証金として納付するものが現金の場合は、銀行振込領収書の写し及び第 1 号書式の入札保証金納付書(以下「入札保証金納付書」という。)を学長に提出しなければならない。銀行振込領収書は、市中の金融機関から、下記の国立大学法人一橋大学名義の銀行預金口座に振込む方法により、当該金融機関が発行する領収書等をいう。

振込先銀行口座	三井住友銀行 国立支店 普通預金 口座番号 7 7 0 4 8 8 1
(フリガナ)	コクリツダイガクホウジンヒツバシタダイガクアズカリキングチ
口座名義	国立大学法人一橋大学預り金口

(入札保証金に代わる担保の納付)

第 6 入札保証金の納付に代わる担保が、第 4 のアからクまでの場合は、当該担保に入札保証金納付書を添えて、学長に納付しなければならない。

第 7 入札保証金の納付に代わる担保が、登録された国債又は地方債の場合は、当該登録済通知書又は登録済書並びに入札保証金納付書を学長に納付しなければならない。

第 8 入札保証金の納付に代わる担保が、第 4 のケの場合は、当該債権に質権を設定し、当該債権に係る証書及び当該債権に係る債権者である銀行又は学長が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面及び契約保証金納付書を学長に納付しなければならない。

第 9 入札保証金の納付に代わる担保が、第 2 のコの場合は、当該保証を証する金融機関等の保証書及び契約保証金納付書を学長あて納付する。

第 10 競争加入者は、第 5 から第 9 までの規定により、入札保証金及び入札保証金納付書等を納付するときは、担当職員の確認を受けた後、これを封筒に入れ密封し、かつ、その封皮に、入札保証金が現金であるときはその金額、入札保証金として国債その他の有価証券等であるときは有価証券等の種類、有価証券の額面金額の種類ごとの枚数及び額面総額又は質権設定金額その他担保の種類に応じて必要な事項並びに競争加入者の氏名(法人にあっては、その名称又は商号)を明記するものとする。

第 1 1 競争加入者は、保険会社との間に国立大学法人一橋大学長を被保険者とする入札保証保険契約を結んだ場合には、当該契約に係る保険証券を国立大学法人一橋大学長に提出しなければならない。

(入札保証金の還付)

第 1 2 入札保証金又は入札保証金に代わる担保は、競争入札が完結し契約の相手方が決定したときは、契約の相手方となるべき者以外の者に対しては即時これを還付し、契約の相手方となるべき者に対しては契約書を取り交わした後（契約書を作成しないときは、契約事項の履行を開始した後）にこれを還付するものとする。

(入札保証金の帰属)

第 1 3 入札保証金又は入札保証金に代わる担保は、契約の相手方になるべき者が当該契約を結ばないときは、国立大学法人一橋大学に帰属するものとする。

(入札)

第 1 4 競争加入者は、図面、仕様書、現場説明書等を熟覧し現場確認の上、この心得を熟読して入札しなければならない。この場合において、図面、仕様書、現場説明書等について疑義があるときは、関係職員の説明を求めることができる。

第 1 5 競争加入者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 2 2 年法律第 5 4 号）等に抵触する行為を行ってはならない。

2 競争加入者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の競争加入者と入札金額又は入札意志についていかなる相談も行わず、独自に価格を定めなければならない。

3 競争加入者は、落札者決定の前に、他の競争加入者に対して入札金額を意図的に開示してはならない。

第 1 6 競争加入者のうち、入札を辞退しようとする者は、次の各号に掲げるところにより、入札を辞退することができる。

一 入札執行前にあつては、別紙第 2 号様式の入札辞退届を国立大学法人一橋大学長に直接持参又は郵送（入札執行日の前日までに到着するものに限る。）により提出するものとする。なお、電子入札システムにより入札を辞退しようとする者は、入札辞退届を入力画面上において作成のうえ提出することができる。

二 入札執行中にあつては、入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、国立大学法人一橋大学長に直接提出するものとする。

(代理人)

第 1 7 競争加入者又はその代理人は、当該入札に参加する他の競争加入者の代理人になることはできない。

第 1 8 競争加入者は、国立大学法人一橋大学契約事務取扱細則第 6 条及び第 7 条の規定に該当する者を競争加入者の代理人とすることはできない。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、特別の理由がある場合に該当する。

(入札場の自由入退場の禁止)

第 1 9 入札場には、競争加入者又はその代理人並びに入札執行事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び第 3 3 の立会い職員以外の者は入場することができない。

第 2 0 競争加入者又はその代理人は、入札開始時刻以後においては、入札場に入場することができない。

第 2 1 競争加入者又はその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員に一般競争（指名競争）参加資格認定通知書（一般競争入札の場合に限るものとし、写真機、複写機

等を使用した機械的な方法によるほぼ原寸大の鮮明な複写物によることができる。)及び身分証明書並びに代理人をして入札させる場合においては入札権限に関する委任状を提示又は提出しなければならない。

第22 競争加入者又はその代理人は、国立大学法人一橋大学長が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

第23 入札場において、公正な執行を妨げようとした者は、入札場から退去させるものとする。

第24 入札場において、公正な価格を害し、又は不正の利益を得るために連合した者は、入札場から退去させるものとする。

(入札書の提出)

第25 競争加入者は、別紙第3号様式による入札書を作成し、当該入札書を封筒に入れ密封し、かつ、その封皮に競争加入者の氏名（法人にあっては、その名称又は商号）及び工事名称を表記し、入札公告、公示又は指名通知に示した日時までに、その入札執行場所に提出しなければならない。

第26 入札書は、入札保証金の全部の納付を免除された場合であって、国立大学法人一橋大学長においてやむを得ないと認めたときは郵便書留をもって提出することができる。この場合においては、二重封筒とし、表封筒に入札書在中の旨を朱書きし、中封筒に入札件名及び入札日時を記載し、国立大学法人一橋大学長あて親展で提出しなければならない。

第27 前項の入札書は、入札公告、公示又は指名通知に示した日時までに到着しないものは無効とする。

第28 代理人が入札する場合は、入札書に競争加入者本人の住所及び氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記載して押印しておかなければならない。

(入札書記載事項の訂正)

第29 競争加入者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印しておかなければならない。

(入札書の引換え等の禁止)

第30 競争加入者又はその代理人は、その提出した入札書の引換え、変更、取消しをすることができない。

(競争入札の取りやめ等)

第31 国立大学法人一橋大学長は、競争加入者が相連合し又は不穩の挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行できない状況にあると認めたときは、当該競争加入者を入札に参加させず、又は当該入札を延期し、若しくはこれを取りやめることができる。

(無効の入札)

第32 次の各号の一に該当する入札書は、これを無効のものとして処理する。

- 一 一般競争の場合において、公告に示した競争に参加する者に必要な資格のない者の提出した入札書
- 二 指名競争の場合において、指名をしていない者の提出した入札書
- 三 請負に付される工事の表示、入札金額の記載のない入札書
- 四 競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）の記載及び押印のない又は判然としない入札書
- 五 代理人が入札する場合における競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名の記載及び押印

のない又は判然としない入札書（記載のない又は判然としない事項が競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）又は代理人であることの表示である場合には、正当な代理であることが代理委任状その他で確認されたものを除く。）

六 請負に付される工事の表示に重大な誤りのある入札書

七 入札金額の記載が不明確な入札書

八 入札金額を訂正したものでその訂正について印の押していない入札書

九 納付した入札保証金の額が入札金額の 100 分の 5 に達しない場合の当該入札書

十 入札公告、公示又は指名通知において示した入札書の受領最終日時までに到着しなかった入札書

十一 公正な価格を害し、又は不正な利益を得るために明らかに連合したと認められる者の提出した入札書

十二 その他入札に関する条件に違反した入札書

（開札）

第 3 3 開札は、競争加入者又はその代理人が出席して行うものとする。この場合において、競争加入者又はその代理人が立ち会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行う。

（落札者の決定）

第 3 4 有効な入札書を提出した者であって、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申し込みをしたものを契約の相手方とする。

第 3 5 予定価格が 1, 0 0 0 万円を超えるものについては、契約の相手方となるべき者の申し込みに係る価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申し込みをした他の者のうち最低の価格をもって申し込みをした者を契約の相手方とすることがある。この場合において、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められる申し込みをした者は、国立大学法人一橋大学長の行う調査に協力しなければならない。

第 3 6 予定価格が 1, 0 0 0 万円を超えるものについて、契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申し込みをした他の者のうち最低の価格をもって申込みをした者を契約の相手方とすることがある。

第 3 7 第 3 5 及び第 3 6 の規定により契約の相手方を決定したときは、他の入札者に入札結果を通知する。

（再度入札）

第 3 8 開札した場合において、競争加入者の入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行うことがある。ただし、郵送による入札を行った者がある場合において、直ちに再度の入札を行うことができないときは、国立大学法人一橋大学長が指定する日時において再度の入札を行う。

（同価格の入札者が 2 人以上ある場合の落札者の決定）

第 3 9 落札となるべき同価格の入札をした者が 2 人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合において、当該入札者のうち出席しないもの又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ、落札者を決定する。

（契約書の作成）

第40 契約書を作成する場合には、落札者は、国立大学法人一橋大学長から交付された契約書案に記名押印し、落札決定の日から7日以内（落札者が遠隔地にある等の特別の事情があるときは、国立大学法人一橋大学長が合理的と認める期間）に契約書の取り交わしを行うものとする。

第41 落札者が第40に定める期間内に契約書を提出しないときは、落札の決定を取り消すものとする。

（請書等の提出）

第42 契約書の作成を要しない場合には、落札者は、第40に定める期間内に請書その他これに準ずる書面を国立大学法人一橋大学長に提出しなければならない。ただし、国立大学法人一橋大学長がその必要がないと認めて指示したときは、この限りではない。

（契約保証金の納付等）

第43 契約の相手方は、入札公告、公示又は指名通知において契約保証金を納付すべきこととされた場合にあっては、指定の期日までに契約金額の100分の10以上の契約保証金又は契約保証金に代わる担保を納付し、又は提供しなければならない。

第44 契約の相手方は、契約保証金をあらかじめ取扱官庁の保管金取扱店（日本銀行の本店、支店、又は代理店）に振り込み、保管金領収証書の交付を受け、これを別紙第4号様式の契約保証金納付書（以下「契約保証金納付書」という。）に添えて、納付しなければならない。

第45 契約保証金に代わる担保の種類、価値及び提供の手続きは、入札保証金に代わる担保に関する定めを準用する。

第46 契約保証金として納付する担保が保証事業会社の保証であるときは、当該担保の価値は保証金額とし、契約の相手方は、当該保証を証する書面を契約保証金納付書に添付して、国立大学法人一橋大学長に提出しなければならない。

第47 契約の相手方は、保険会社との間に国立大学法人一橋大学長を被保険者とする履行保証保険契約を結んだ場合には、当該契約に係る保険証券を国立大学法人一橋大学長に提出しなければならない。

第48 契約の相手方は、公共工事履行保証証券による保証を付する場合には、当該保証を証する証券を国立大学法人一橋大学長に提出しなければならない。

第49 落札者は、契約上の義務履行前に契約保証金に代わる担保として提供した小切手があるときは、当該小切手又は手形に代わる契約保証金を納付しなければならない。ただし、国立大学法人一橋大学長が、これらの有価証券の取立て及び当該取立てに係る現金の保管をした場合はこの限りではない。

（契約保証金の帰属）

第50 落札者が納付した契約保証金又は契約保証金に代わる担保は、これを納付又は提供した者が契約上の義務を履行しないときは、国立大学法人一橋大学に帰属するものとする。

（契約保証金の還付）

第51 契約保証金又は契約保証金に代わる担保は、契約に基づく給付が完了したときその他契約保証金又は契約保証金に代わる担保を返還する事由が生じたときは、これを還付する。

（異議の申立）

第52 入札をした者は、入札後、この心得、図面、仕様書、現場説明書等についての不知又は不明を利用として、異議を申し立てることはできない。

## 入札保証金納付書

入札保証金が現金であるときはその金額、入札保証金として納付する担保が国債その他の有価証券であるときは有価証券等の種類、有価証券の額面金額の種類毎の枚数及び額面総額、又は質権設定金額その他担保の種類に応じた金額

請負に付される工事名

上記工事の請負契約のための競争入札の入札保証金として、上記金額を納付します。

この入札保証金は、入札の結果落札した場合において公告（指名通知書）に示された手続きをしなかったときは、国立大学法人一橋大学に帰属するものであることを了承します。

平成 年 月 日

国立大学法人一橋大学 御中

競争加入者

住 所

氏名・印

## 入 札 辞 退 届

〔 請負に付される工事名 〕

このたび、上記工事の指名を受けましたが、都合により入札を辞退いたします。

平成 年 月 日

国立大学法人一橋大学 御中

競争加入者

住 所

氏名・押印

## 入 札 書

〔 請負に付される工事名 〕

入札金額 金 円也

工事請負契約基準を熟知し、図面及び仕様書に従って上記の工事を実施するものとして、入札に関する条件を承諾の上、上記の金額によって入札します。

平成 年 月 日

国立大学法人一橋大学 御中

競争加入者  
住 所  
氏名・押印

### 備 考

- (1) 競争加入者の氏名は、法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名を記載すること。
- (2) 代理人が入札をするときは、競争加入者本人の住所及び氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記載し、かつ、押印すること。
- (3) 落札決定に当たっては、入札書記載金額に当該金額の8パーセントに相当する額を加算した金額（1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）を落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 契約保証金納付書

契約保証金が現金であるときはその金額、入札保証金として納付する担保が国債その他の有価証券であるときは有価証券等の種類、有価証券の額面金額の種類毎の枚数及び額面総額、又は質権設定金額その他担保の種類に応じた金額

請負に付される工事名

上記工事の契約保証金として、上記金額を納付します。

この契約保証金は、契約上の義務を履行しないときは、国立大学法人一橋大学に帰属するものであることを了承します。

平成 年 月 日

国立大学法人一橋大学 御中

受 注 者  
住 所  
氏名・印